

# 令和3年度教育活動に関する職員アンケート（前期学校評価）

（学校経営・運営ビジョンの内容を評価の項目・観点とする）

学校評価委員会

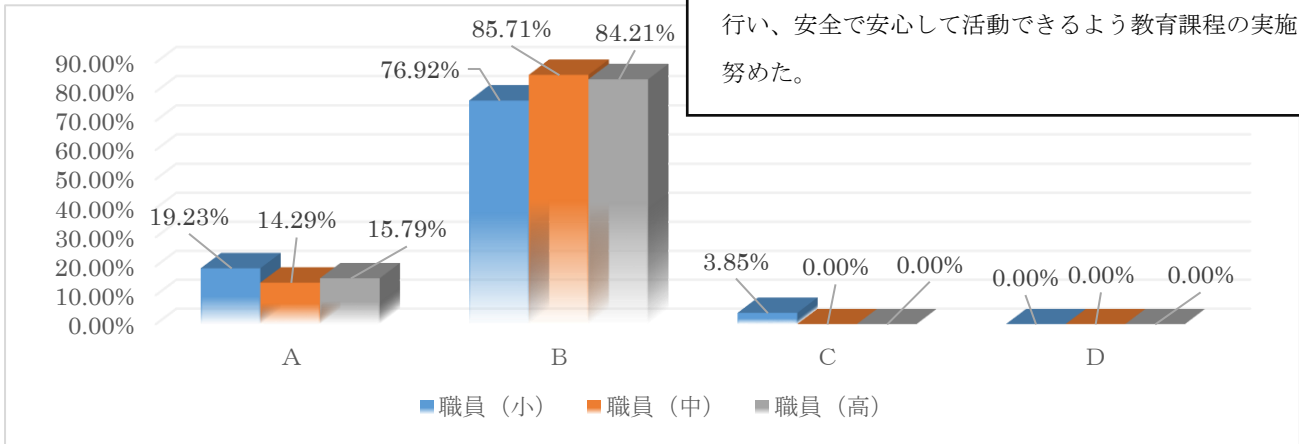
A…とてもよくできている B…よくできている C…あまりできていない D…できていない

## 重点目標・重点事項

### 1【重点目標】

職員…地域の人的・物的資源を活用し、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、社会と連携・協働を図り、組織的・計画的に取り組んでいます。

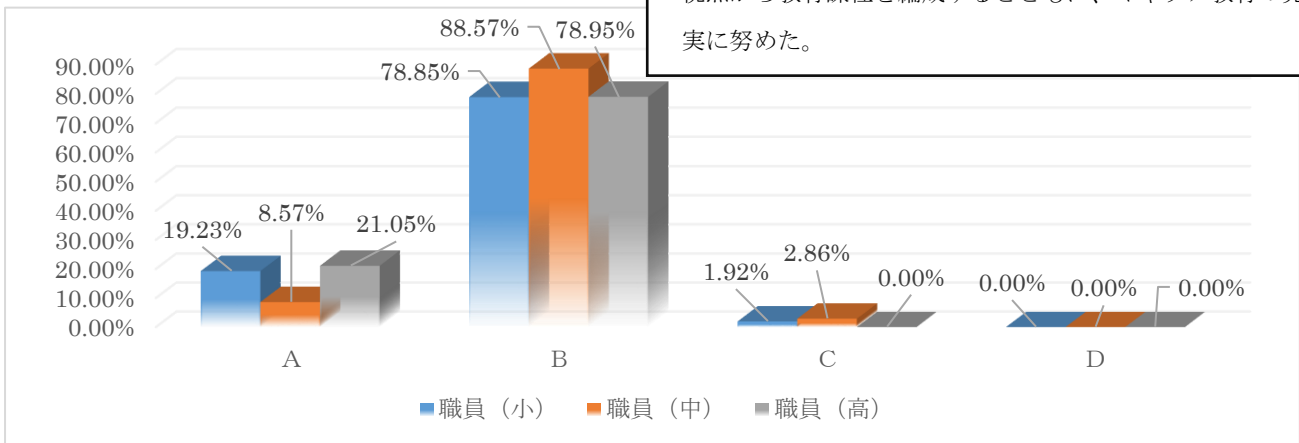
・各学部、各部、各委員会そして各教員が協働し学校と地域との連携と協働を目指すとともに、コロナ禍での学習活動や行事等において、活動の工夫・計画の見直しを行い、安全で安心して活動できるよう教育課程の実施に努めた。



### 2【重点目標】

職員…教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成とキャリア教育の充実に努めています。

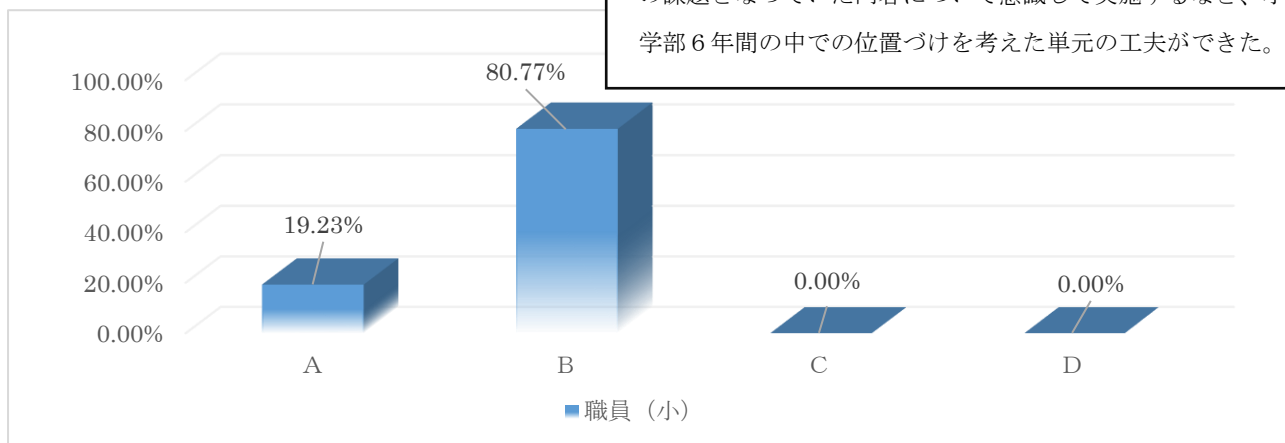
・各学部、学年で年間指導計画・個別の指導計画について育てたい資質・能力、その育成に向けた教育内容の作成、見直しに努め、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程を編成するとともに、キャリア教育の充実に努めた。



### 3 【小学部重点事項】

職員・・・年間計画を活用し、小学部6年間や卒業後の学習及び生活を見据えて各教科等の指導内容を適切に配置しながら、教科等横断的な視点をもった授業づくりや観点別学習評価の充実に努めています。

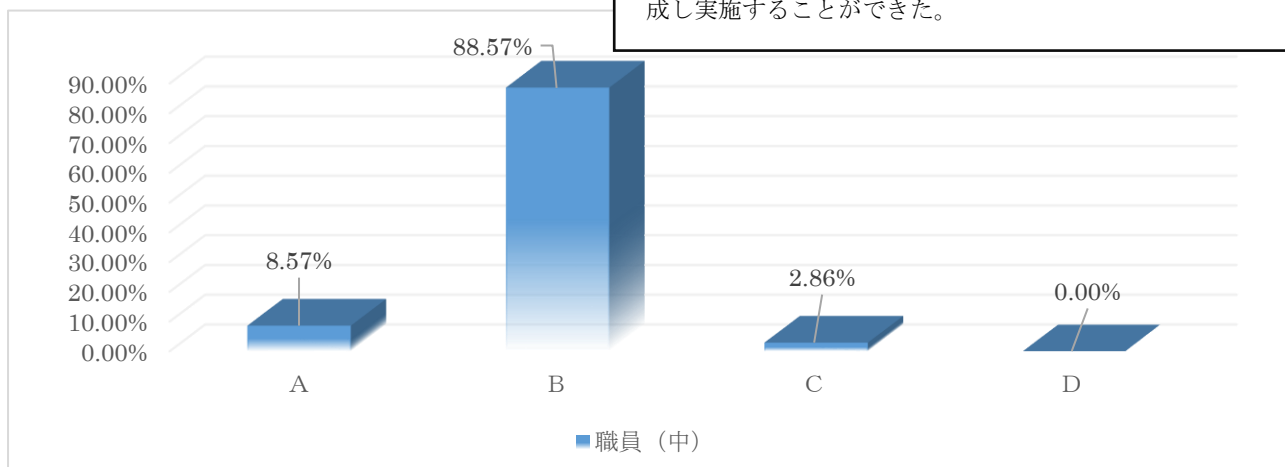
・年間指導計画については、内容の改善が図られ、授業の実施につなげられている。放射線教育や防災教育など、昨年度の課題となっていた内容について意識して実施するなど、小学部6年間の中での位置づけを考えた単元の工夫ができた。



### 4 【中学部重点事項】

職員・・・年間計画を活用し、中学部3年間や卒業後の学習及び生活を見据えて各教科等の指導内容を適切に配置しながら、教科等横断的な視点をもった授業づくりや観点別学習評価の充実に努めています。

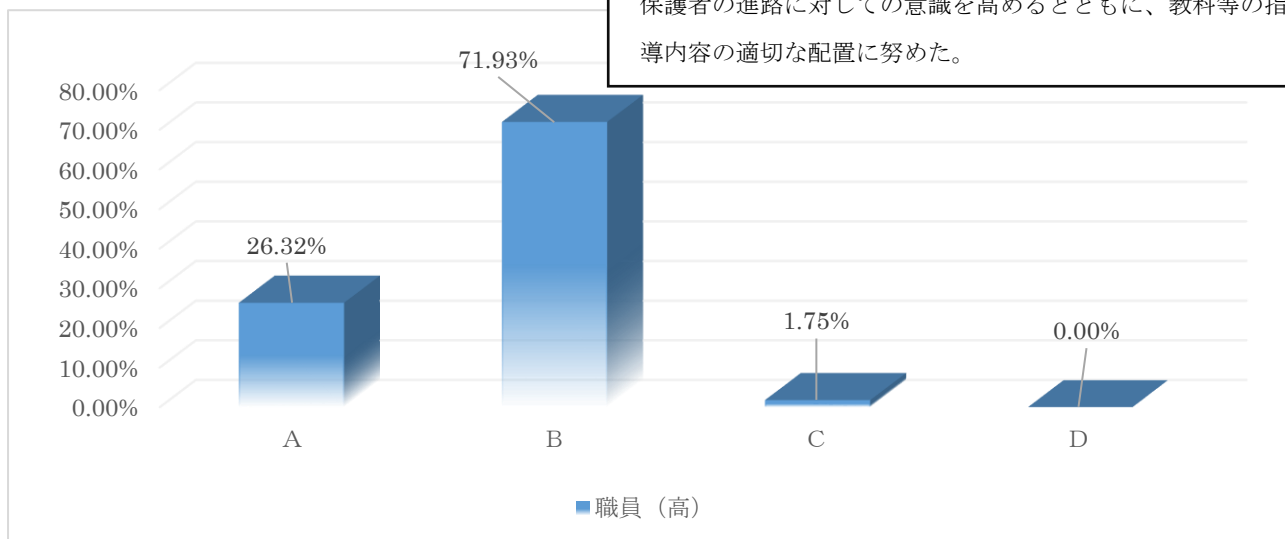
・年間指導計画の作成において、「学びの履歴シート」を活用し、履修すべき内容に漏れや重複している部分があるか、また、継続的・発展的に配置されているのかを確認しながら作成し実施することができた。



## 5 【高等部重点事項】

職員・・・年間計画を活用し、高等部3年間や卒業後の進路及び生活を見据えて各教科等の指導内容を適切に配置しながら、教科等横断的な視点をもった授業づくりや観点別学習評価の充実に努めています。

・年間指導計画の作成において、将来の生活や自立に向けた単元の作成、授業づくりの工夫に努めた。懇談等を通して、保護者の進路に対する意識を高めるとともに、教科等の指導内容の適切な配置に努めた。

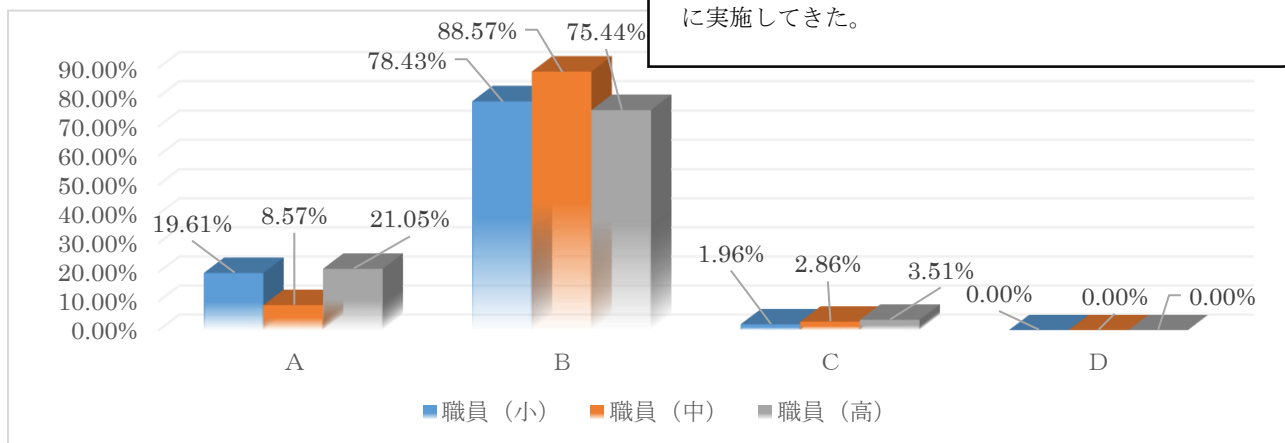


## 教務

## 6 【カリキュラム・マネジメントの実践】

職員・・・卒業後の姿を見据えたカリキュラム・マネジメントの推進とともに、教育活動を組織として改善し、組織構造、学校文化の醸成を促し、学部及び各部等と連携・協働し教育活動を行っています。

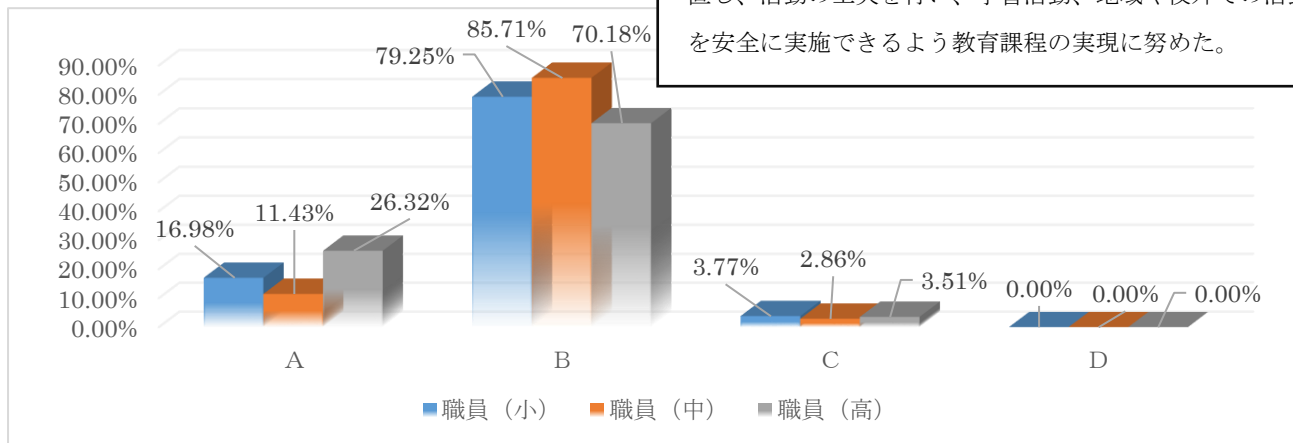
・カリキュラム・マネジメント委員会と連携し、指導計画作成、見直し、評価を行うとともに、コロナ禍における教育活動等を安全に実施できるよう、組織的、計画的に実施してきた。



### 7 【社会に「開かれた教育課程」の実現に向けた取組】

職員・・地域の人的・物的資源を活用し、社会との連携・協働を図り、組織的・計画的に教育活動を行っています。

・コロナ禍における新しい生活様式に沿った教育活動の見直し、活動の工夫を行い、学習活動、地域や校外での活動を安全に実施できるよう教育課程の実現に努めた。

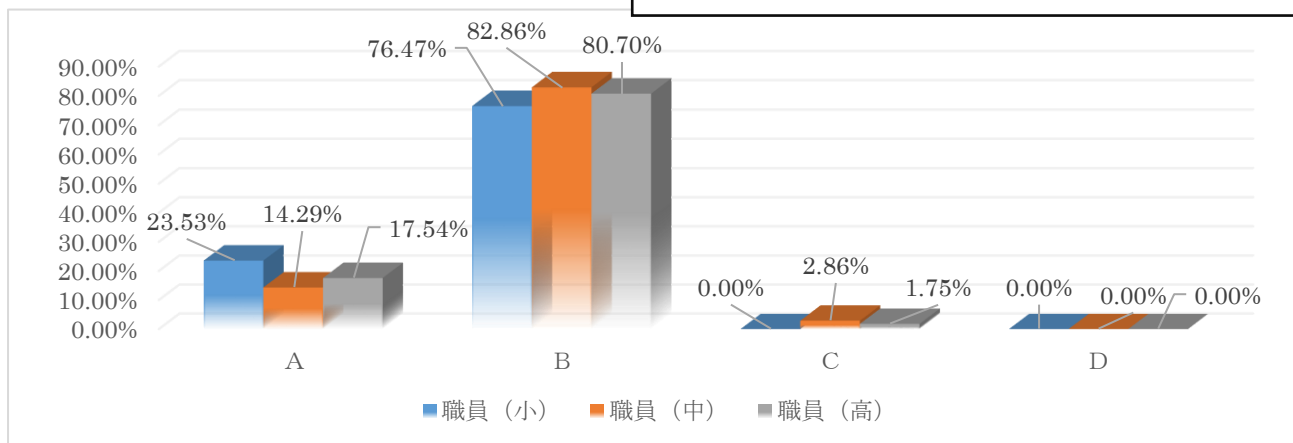


### 研修

### 8 【研究推進】

職員・・校内研究「深い学び」の実現を目指す授業づくり～「深い学び」による資質・能力の育成に向けて～について研究に取り組んでいます。

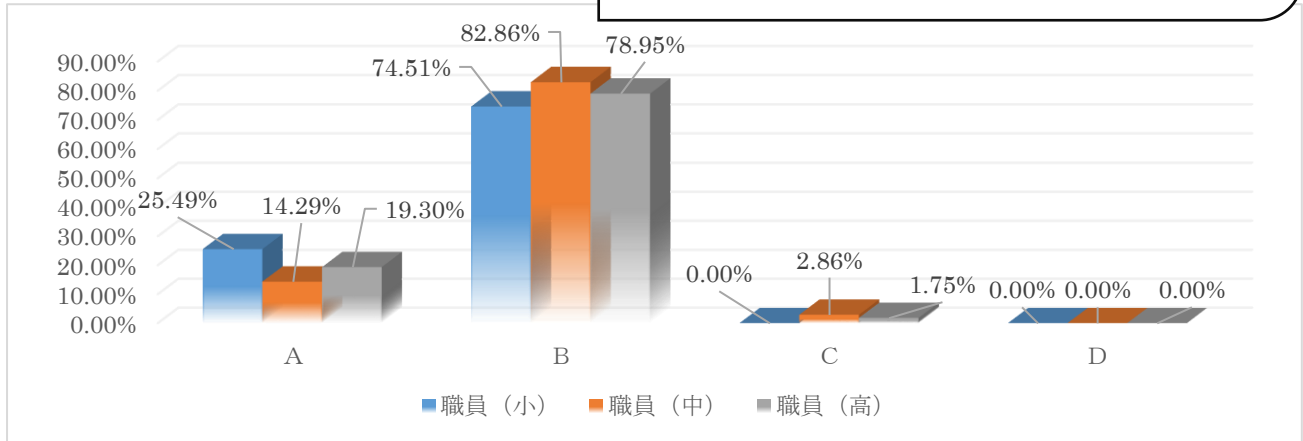
・昨年度の1年次の研究で見えてきた「深い学び」の姿を成果として4月の全体研修会で共有した。2年次は個人研修を軸として、課題となった視点での授業づくりに取り組むことができた。



## 9 【研究推進】

職員・・・専門性の向上を図ることができるよう研修ニーズに応じた学習会や授業づくり支援、校外研修、公開研修会等、本校教員が主体的に研修する環境の整備を行っています。

・外部講師を活用した講演会を通して、特に「見方・考え方」「どのように学ぶか＝思考に着目する」課題である視点について理解を深める機会を設定し、校内研究のスタートとするなど研修ニーズに応じた研修の進め方を設定できた。

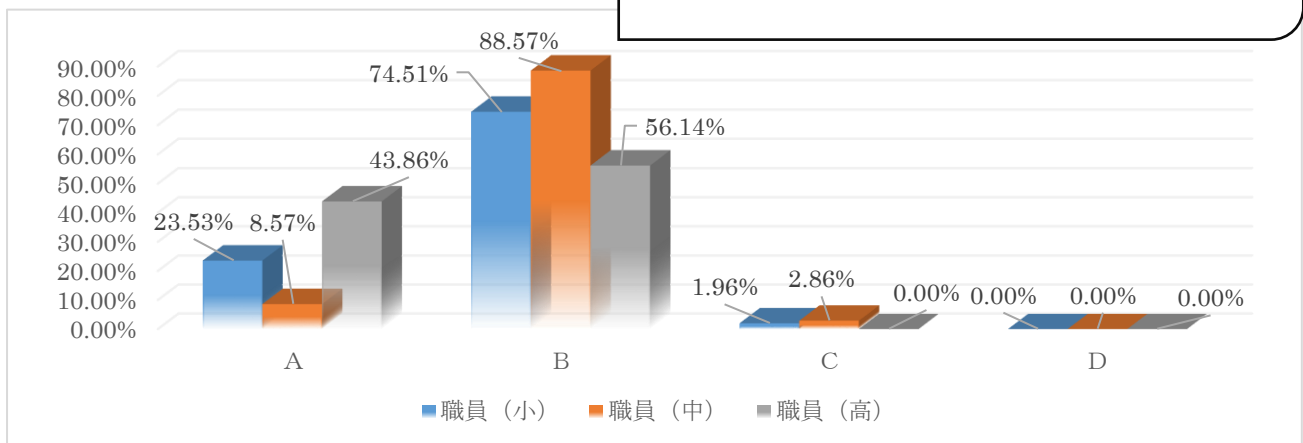


## 生徒指導

### 10 【地域・家庭との連携による社会性の育成】

職員・・・あいさつの日を定期的に設定し、あいさつと丁寧な言葉づかいの実践に取り組んでいます。進んであいさつをする児童生徒を称え、意識を高めています。

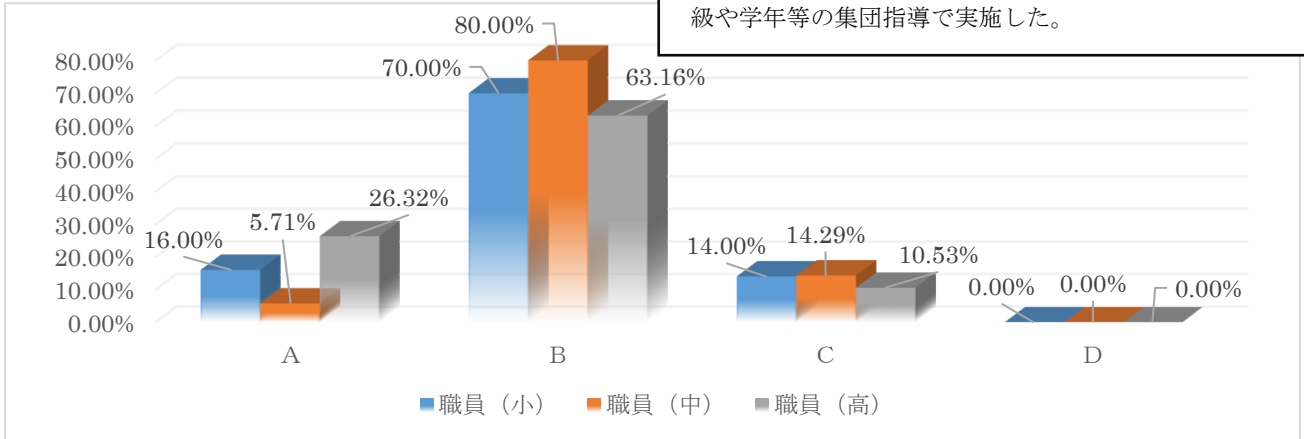
・月別生活目標と関連させながら、各学級で指導の徹底を図ることができた。あいさつの励行を通し、学年、学部を越えた児童生徒理解につなげることができた。



### 11【生徒指導の改善・充実】

職員・・・携帯電話等使用のマナーとルールに関する指導の方法、内容を工夫し、適切に使用できるよう指導を行っています。

・高等部では、携帯電話等使用についての学習を実施するとともに、言葉の使い方や思いの伝え方のマナー、ルールなどに関し、基本的な内容を日頃から個別指導、学級や学年等の集団指導で実施した。

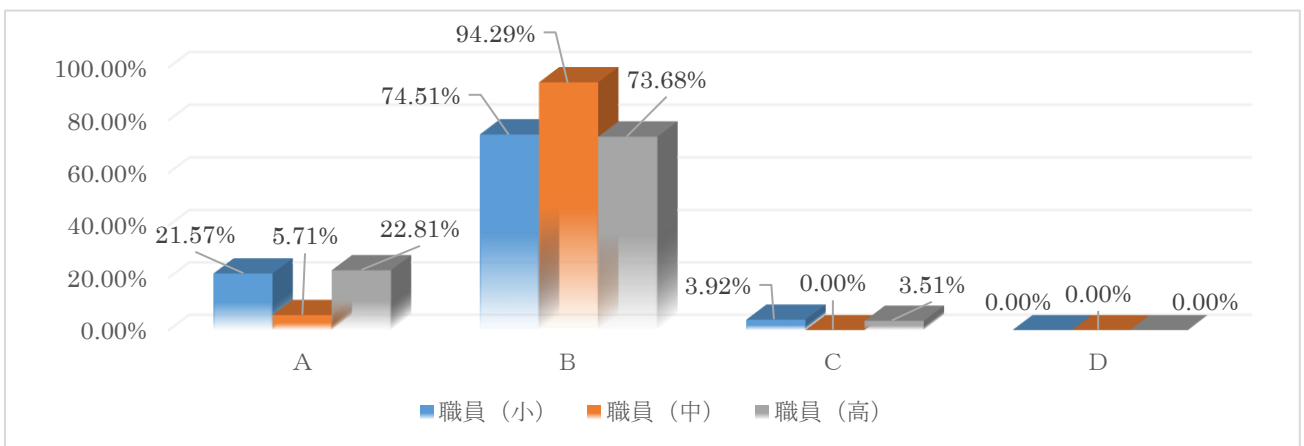


### 保健

### 12【保健指導の充実】

職員・・・関連する部署と連携を図り、発達の段階に応じた指導方法を工夫します。

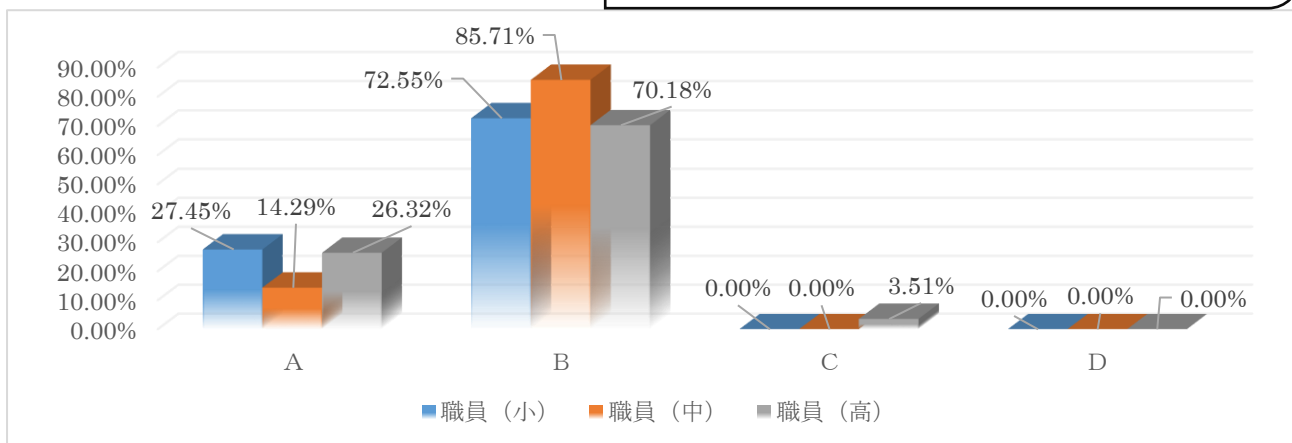
・保健指導では、担任へ性教育や肥満指導に関するアンケートを実施した。学校医からの指導助言等を受けながら全体に周知し、保健指導に活かすことができた。



### 13 【給食指導の充実】

職員・・・安心安全に給食を提供し、食に関する指導において、摂食指導、食育の充実に努めています。

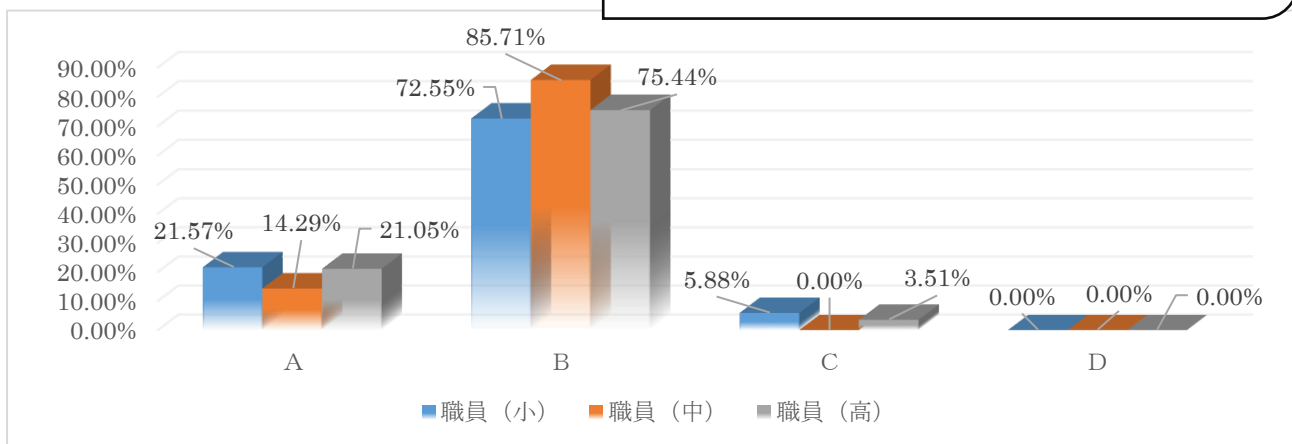
・児童生徒の摂食指導については、校内研修として実施することができた。12月の研修会では専門家の助言を受けて更に改善に努めたい。



### 14 【学習環境の整備】

職員・・・清潔で安全な学習環境を整えるために校舎内外の美化に取り組んでいます。

・全校の教職員に協力を得て、校舎内外を清潔に保つことができた。また、安全点検とその改善を行い、校舎内外を安全に保つことができた。

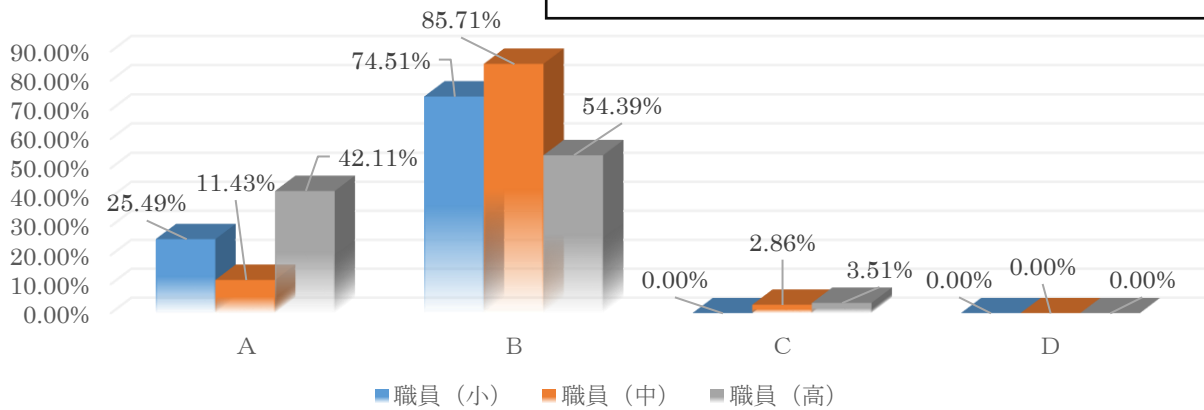


## キャリア支援

### 15【進路指導の充実】

職員・関係機関との連携を図り、児童生徒一人一人に応じた進路指導を実施しています。

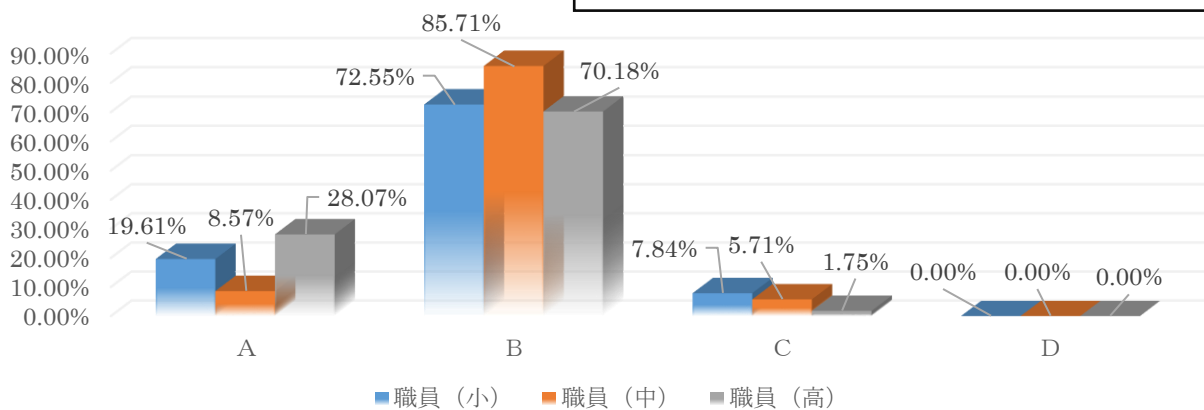
・県北障がい児者ライフサポート連絡協議会や卒業生体験発表会を実施することができた。コロナ禍での就業支援や定着支援の課題等について、関係機関と情報を共有することができた。



### 16【キャリア教育の充実】

職員・児童生徒の発達の段階や小・中・高の実年齢に応じたキャリア教育を推進し、「社会参加」や「働く意欲」について継続した指導を行っています。

・小・中学部の職員にキャリア支援部の研修会についてのアンケートを実施し、今後の進路研修会の内容を考える参考とした。また、指導における参考とし、学校全体で指導の充実に努めている。



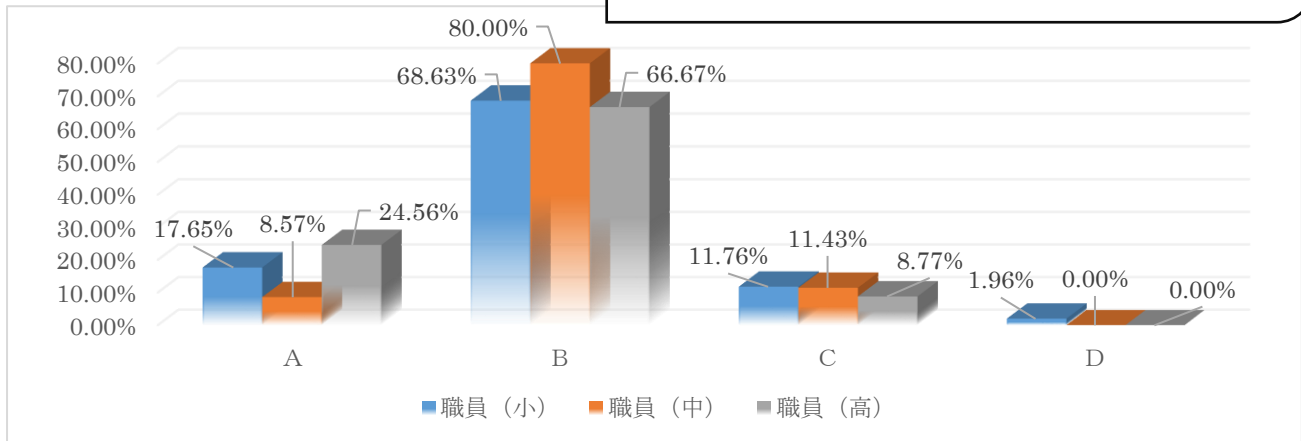


## 情報教育

### 17【専門的知識の向上】

職員・・・動画編集やパソコンデータ入力などの技術向上に向けた研修を実施しています。

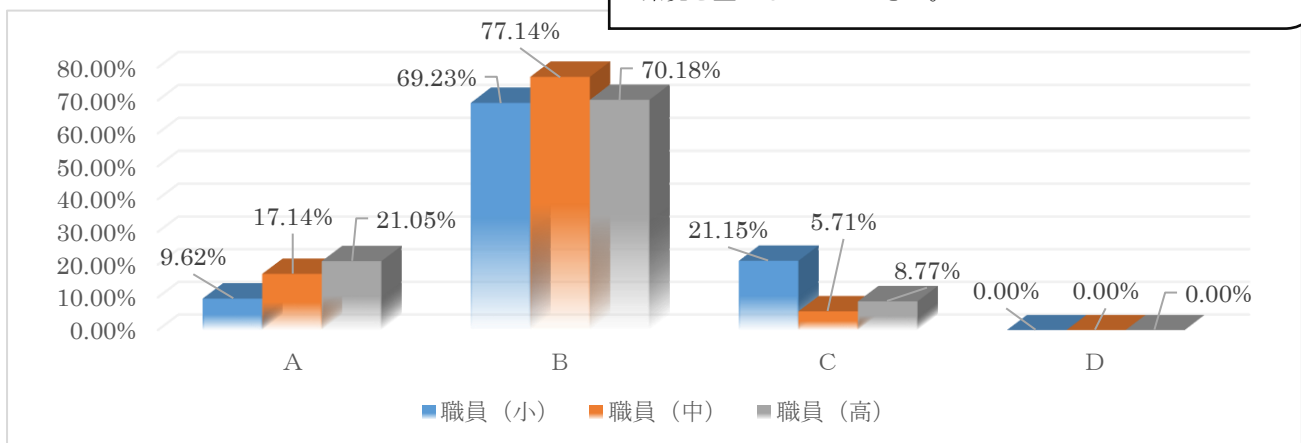
・ICT研修会を実施し、Googleワークスペースの使い方について理解を深めるとともに、動画編集やパソコンデータ入力などの技術向上に努めた。



### 18【授業への活用】

職員・・・タブレットなどを授業に活用し、児童生徒が興味・関心を持って授業に取り組めるよう指導の充実を行っています。

・生徒が使用するタブレット端末の使用規定を作成するとともに、児童生徒用のパソコンやタブレット貸し出しについて、台数を確保し、必要に応じて授業などに活用できるよう環境を整えることができた。

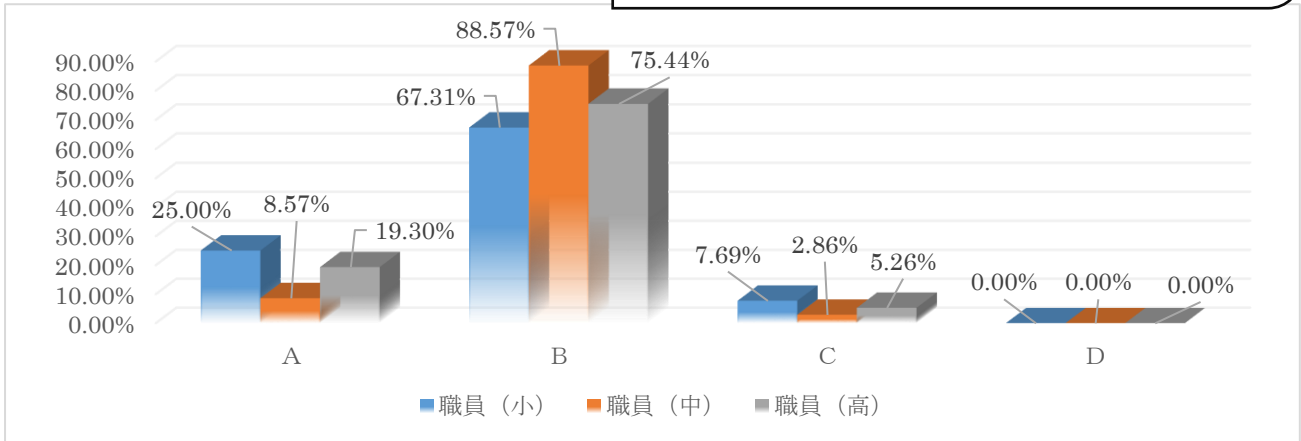


## 教育支援

### 19【地域との連携、協働】

職員・・・交流及び共同学習において、特に居住地校交流に取り組んでいます。

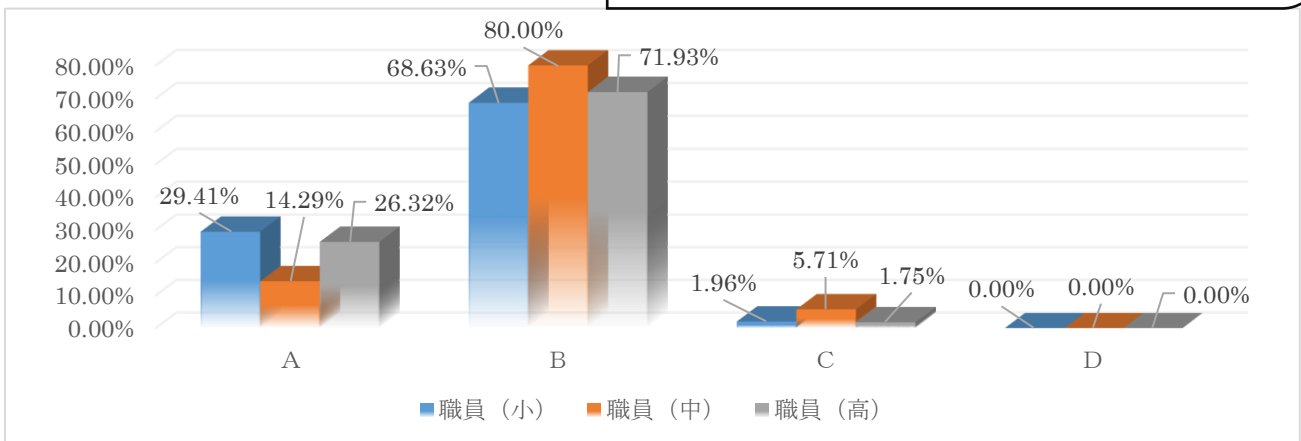
・二本松工業高等学校との交流及び共同学習の企画・運営を行い、実施できた。また、居住地校交流においては、コロナ禍でも他校の協力が得られることで実施できた。



### 20【教育相談の充実】

職員・・・地域支援センター「ささっこ」は、地域で生活する特別な支援を必要とする幼児、児童生徒及び保護者等の相談を行っています。

・校内支援、来校相談を実施し、幼児児童生徒、保護者、教職員が抱える困り感に対し、教務部やキャリア支援部等と連携して情報共有や課題解決に向けたケース会議などを随時実施し、必要な支援や助言を行うことができた。

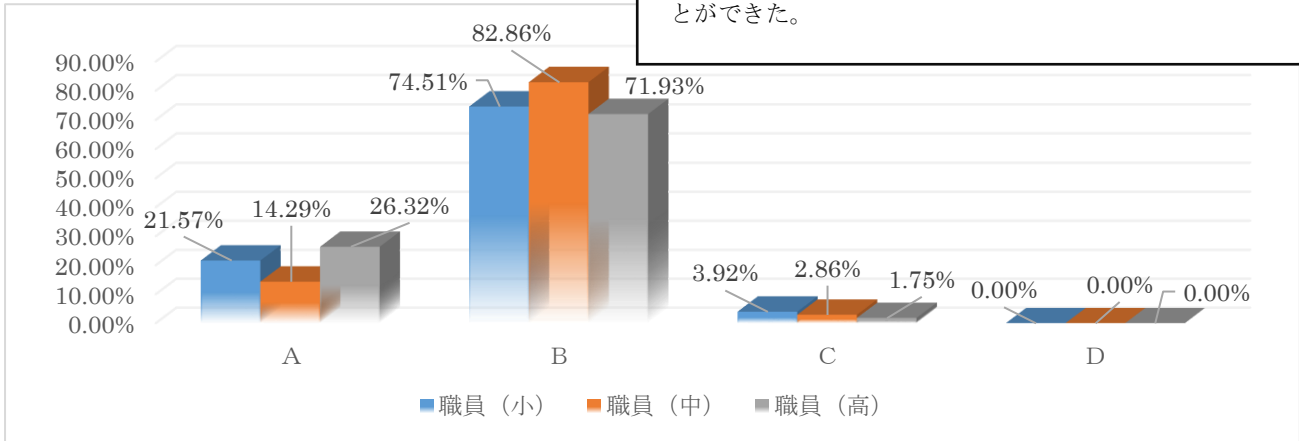


**渉外**

**21【地域交流・地域貢献の推進】**

職員・・・PTA奉仕作業を実施し、会員間や地域との交流を図っています。

・コロナ禍で昨年実施できなかった総会を、今年度は開催することができた。今年度もPTAの活動に制約はあったが、奉仕作業を実施するなど会員間相互の連携に努めることができた。



**22【会員間相互の連携・協働】**

職員・・・キャリア支援部と連携した「進路座談会」「事業所見学」や講師を招いての「親睦会」、県知P連事務局校として研修会を実施し、会員間相互の教養を深めています。

・コロナ禍でできる内容を検討しながら、事業を進めてきた。今後「進路座談会」「事業所見学」などの実施、県特別支援学校知的障がい教育校PTA連合会の研修会を実施し、会員相互の教養を深めていきたい。

